

香美市立舟入小学校

道徳だより

参観授業ありがとうございました

去る、23日に行われました参観授業には、大変多くの保護者の皆さま、地域の皆さまにお越しいただき、誠にありがとうございました。参観授業はもちろんのこと、その後の授業内容を通してのサークルトークや、学年懇談会、最後のスポーツ大会に至るまで盛りだくさんの内容でありましたが、ご協力いただき、ありがとうございました。おかげさまで大変盛り上がった道徳参観日になったと思います。今後とも、本校の道徳教育へのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

1年生は「はしのうえのおおかみ」というお話から親切にすることについて学習しました。なかよし保育園の式地園長先生にも来ていただき、心で思っていることを話すのはむずかしいことだけど、友達の前でしっかり発表できている姿に感動したとお話をいただきました。

1年

2年生は、一人一人が自分のよさについて考えました。保護者の皆さまにも、改めてお子さんのよさについて見つめていただきました。保護者の皆さまの横でニコニコしながら、自分のよさについて考える子供たちの笑顔が印象的でした。こちらは、地域の方を代表して岩村さん(4年彰社さん祖母)に来ていただきました。ありがとうございました。

2年

3年生は、公平に接することの大切さについて「ぼくのボールだ」というお話を通して考えました。ドッチボールで勝つためには上手な人が投げるべき……でも、勝つことだけ考えちゃいけない、投げたい人の気持ちも考えるべきだという感じて授業が進みました。いつも交通指導をしてくださっている民生委員の佐竹さんには、価値の高い行動をするのは、難しいけれど、それを目指して頑張ってほしいというお話をさせていただきました。ありがとうございました。

3年

4年生は、「いのりの手」という外国で実際にあったお話を通して友情について一人一人が考えました。子供たちからは、いっしょにいるだけが友達ではない、仲間外れをしない、優しさを相手に届けることが大事だという意見が出ました。サークルトークでは、多くの保護者の皆さまにお子さんに望む友情関係についてお話いただき、最後には、土佐山田幼稚園の中島園長からも、授業の感想をいただきました。ありがとうございました。

4年

5年生は、「ぼくの夏休み大作戦」というお話を通して、自分を律し、責任をもって生活するということについて考えました。夏休みは、自由だからこそ自分で決めたことに責任をもつことや、自分が自信のもてる計画にすることが大切という意見が出されました。地域の代表として宮地憲一さんにお越しいただき、小学校時代に失敗談などを踏まえてお話していただき、それぞれにとっていい夏休みにしてくださいねとエールを送ってもらいました。今後とも学校西側の田んぼから子供たちを見守ってくださると思います。

5年

6年生は、「母校大発見」というお話を通して、学校のために自分たちができることについて話し合いました。保護者の皆さまや中学生を交えたサークルトークでは、先人が取り組んできたことを大切にして受け継いでいくことや、仲間との関係を大事にする等の意見が出され有意義な時間になりました。また、高知新聞販売所の堺さんからは、卒業してもふないれ祭り等の取組に関わることで、いつまでも舟入小学校の一員として地域を元気にしていってほしいという話を聞かせてもらいました。ありがとうございました。

6年